



大野小だより

「みんなでつくろう幸せな学校」

自ら進んで学ぶ子 自分を高める子 互いを認め合える子 令和 6年 6月26日 第5号

HP QR コード



人やもの・ことから学びを深めています！

トンボ博士とヤゴ救出！

ほとんどがギンヤンマのヤゴでしたが、中にはイトトンボのヤゴも！救出したヤゴを見て、名前や食べ物、羽化までの飼育の仕方などをとんぼ博士たちに聞く子どもたち。「知りたい。」「もっと詳しく知りたい！」と子どもたちの学習意欲は高まってきました。



プール清掃の日、3年生を対象に、とんぼ博士たちを招いて『ヤゴ救出大作戦！』を行いました。



ヤゴ救出後は、トンボに関する講義を。日本に生息するとんぼの種類や特徴を標本を使って分かりやすく説明してくださいました。途中、袋から出てきたギンヤンマが解放放たれる場面も。これには、子どもたちも大興奮でした。

最後に、たくさん並んだ標本をじっくりと観察する子どもたち。トンボだけでなく生き物に関する話を、いつまでもいつまでも博士たちとしていた子どもたちでした。

救出した多くのヤゴが羽化に成功し、毎日、立派なギンヤンマが3年生のフロアを飛び交い、子どもたちを楽しませていました。



市川ブランドの梨！

5年生を対象に、市川市農業振興課の方々「食」と「農」をテーマに出前授業をしました。市川ブランドの梨とそれを作る農家さんの取り組みや思いについて知ることができました。

食品ロスについても現状を知るとともに、一人ひとり考えたり、意見交流をしたりする場面もあり、今後「食」をテーマに総合的な学習の時間を進めていく5年生にとって、課題づくりにつながる授業となりました。



梨づくりの一端を担う？！

3年生社会科『梨づくりのしごと』の学習で、柏井の梨農家の岡本さんに、おいしい梨をつくるためのプロの仕事について教えてもらっています。

1回目は、受粉について。受粉作業は、命の始まりだからとても大切であること。たくさん実がなるようにと3週間ほどかけていぬいに行くそうです。花粉が噴霧される機械を見せてもらいました。





自分で摘果した梨を見つめ、「食べたいなあ。」「おうちに飾っておこう。」と子どもたち。友達と大きさを比べたり、においや手触りを調べたりと、摘果した梨からも多くのことを学んでいました。

2回目は、梨の摘果の仕方について。先生が、普段使うはさみとプロが使う摘果用のはさみの違いについて体験を。「スッと切れたよ!」と。続いて子どもたちも摘果体験を。切れ味の少し違う2種類のはさみを使って、摘果しました。



和梨の種類、収穫の時期や数、梨の表面にあるつぶつぶの役割や梨のお尻がくぼんでいる理由など、子どもたちから出たたくさんの疑問に、岡本さんが答えてくださいました。

3回目は、梨畑で袋掛けの体験をする予定です。自分たちが作業した梨が市場に?!



千葉ジェッツ バスケット教室

5年生を対象に、千葉ジェッツアカデミーコーチの皆さんによるバスケット教室が行われました。初めに、バウンドパスの練習から。バウンドパスといっても、足をグーパーグーパーと閉じたり開いたりしている人の足の間をバウンドさせるというもの、いきなり難易度の高い練習でしたが、子どもたちは楽しそう!



「グーのタイミングでボールを出せばいい!」とコツを発表する人も。うまくぐり抜けると、ガッツポーズ!!



2つ目は、中央にある大小さまざまなコーンにボールをぶつけて倒すというもの。2~3mの至近距離から狙っているのに、当たらない・・・しかも、自分で投げたボールは自分で取りに行き、次のチームメイトにパスをしなければなりません。制限時間ありの勝負でしたが、どの学級も時間内にすべてのコーンを倒すことができませんでした。

ボール運動が苦手な人でも楽しむことができるメニューでした。



陶芸教室

6年生を対象に、野田陶芸さんをお迎えして陶芸教室を開きました。粘土を積み上げてカップなどの入れ物を作ります。平らに伸ばして大皿にする人もいました。口の部分が開いてしまったり、取っ手の接続がうまくいかなかったりと苦戦していましたが、味わいのある作品になりました。この後、素焼き、色付け、本焼きを経て、一か月後に仕上がった作品が届くとのことです。楽しみです!

地域の教育力に支えられ、本物に触れ、学びを深めている大野っ子